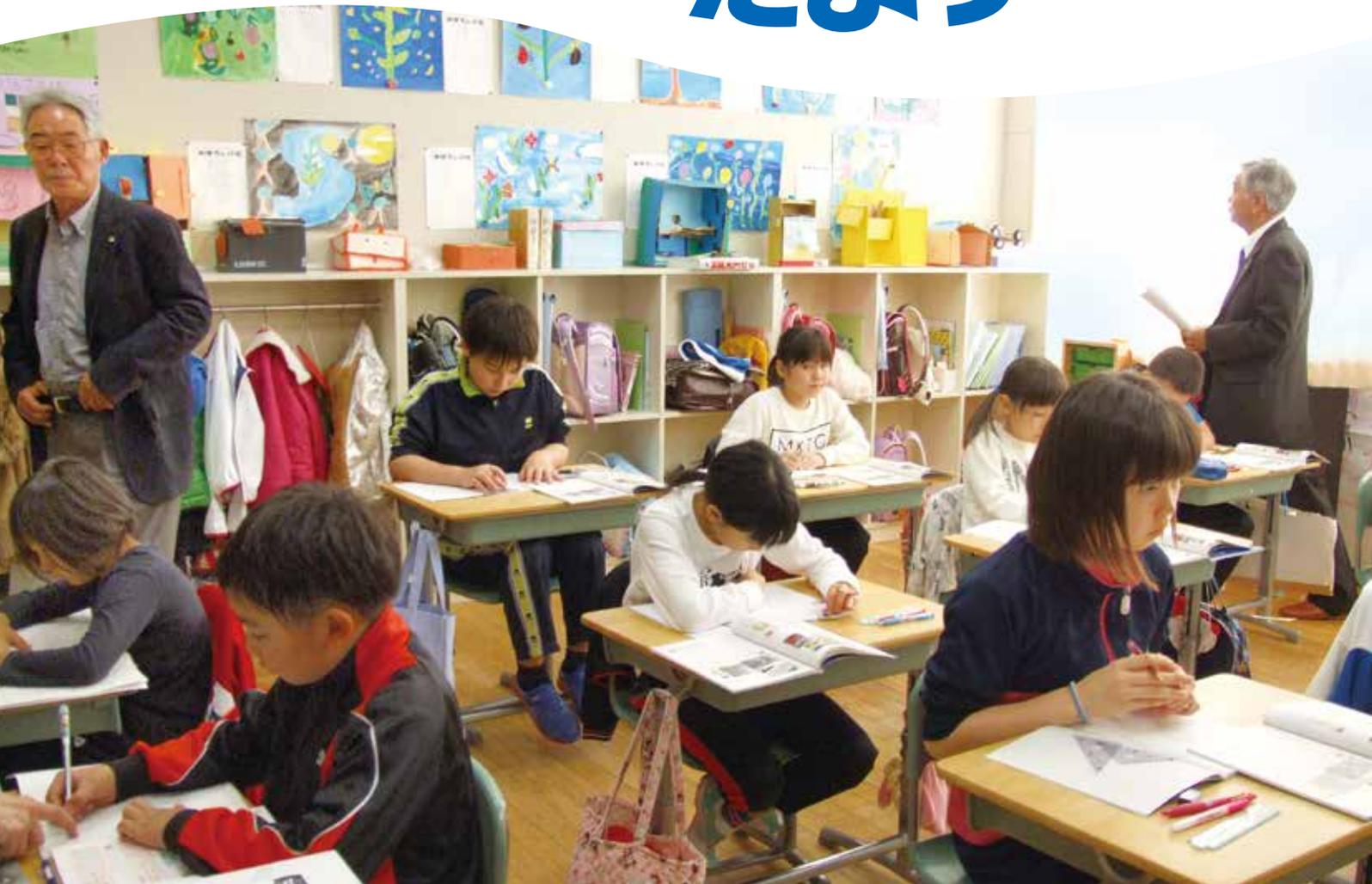


しべちゃ 議会 だより



— 中茶安別小中学校授業風景「阿歴内っ子・元気に楽しく勉強しています」 —

第105号

平成29年2月1日発行

発行/標茶町議会
編集/広報調査特別委員会
電話/(015) 485-2111
住所/標茶町川上4丁目2番地

12月第4回定例会 (12月6日~8日)

平成28年度補正予算可決

一般会計	4億947万3千円の追加
下水道事業	81万2千円の減額
介護保険事業(事業)	135万円の減額
(サービス)	557万4千円の減額
病院事業	116万4千円の追加
上水道事業	4万1千円の減額

一般質問 **町政を問う** 6名10件の質問

意見書「JR北海道への経営支援を求める意見書等」6件提出

平成27年度決算認定 6名が総括質疑

農業委員会の定数に関する条例の制定

一般会計で 4億1,987万3千円の追加

平成28年度一般会計をはじめ各会計の補正予算が慎重審議の後、全員一致で可決されました。

主なもの

■ 除雪対策費	1億3,797万2千円
■ 農業振興費	2,643万9千円
(新規就農者支援事業	1,000万円
農地中間管理事業	1,430万8千円他)
■ 牧野管理費	9,851万5千円
■ 災害復旧費	1億1,024万1千円

他の特別会計及び企業会計の補正は表紙に掲載しました。また、国民健康保険事業は、補正額は0でしたが、内容は療養給付費400万円を減額し高額療養費400万円の追加したことによるものでした。

平成二十八年度 第四回定例会 補正予算可決

条例の改正

標茶町農業委員会の定数に関する条例

※標茶町農業委員会の定数に関する条例の全部を改正する。

法改正により農業委員の選出方法を、「市町村長の任命制」に変更したことによる条例の改正です。定数は16名で、後日、町のホームページ、広報等で公募（自薦・他薦）することになります。

条例の一部改正

※標茶町税条例等の一部を改正する条例の制定について

「軽自動車税」を「種別割」に改めるものですが、税額は今までと変わりありません。また、環境性能割の税率の特例も新設されましたが、これらについては、消費税の税率10%が延期されたのでそれに伴い実施は延期されます。

※標茶町特別会計の一部を改正する条例の制定について

特別会計条例に、「標茶町簡易水道事業特別会計・簡易水道事業を加えるもの」です。これにより、国や道の補助を受けることができることとなります。



町政を問う

食肉加工センター建設の動きについて

黒沼 俊幸
議員

町長 まだ結論は出ていない

問 9月の第2回定例会で食肉加工センターの建設場所について本町の中茶安別地区に予定していたが、下流域の漁業協同組合の反対により別の場所を選定するとの考えが示された。

今回の第4回定例会までに新たな場所の選定は何回行ってきたのか。
西別川水系と釧路川水系に分かれるが、何ヶ所を調査中なのか。
結論はいつ頃出せるのか伺いたい。



答 別寒辺牛川水系を除いた場合、西別川水系あるいは釧路川水系となる。

新たな場所の選定は、西別川水系4ヶ所、釧路川水系5ヶ所を選定し、現地調査を2回、検討委員会を2回開催し、根釧管内の農業者、農業団体が利用しやすい条件、アクセスの条件、周辺環境の条件などを比較検討する中から絞り込みを進めている。

結論を出せる時期は協議事で、いこと示せない。

今後の観光についての考えを

後藤 勲
議員

町長 環境省と協議を進めていく

問 1、サルボ展望台の維持管理の徹底をしてほしい。

2、標茶駅横にあるバス待合室トイレの改善と階段のスロープ及び腰掛椅子の改善が必要である。

3、多和平を道の駅に出来ないのか、又キャンプ場の整備及びドッグランを併設する考えはあるのか。又、特にトイレの改善を望む。

答 1、ルートの補修等については、随時行っており、本ルートの剪定及び散策路の整備については、地元の見も含め環境省と協議を進めていく。

2、バス待合室の改善については、本年度トイレ等の一定の改善を行っている。

3、ドッグランの新設については、育成牧場運営審議会にて、他の動物を入れることは好ましくない、設置には反対であるとのことであり、町としても設置困難と考えている。多和平のトイレについては現状と良いと考えている。



多和平のトイレ

深見 迪 議員

五十石駅の廃止は容認できない

町長 受け入れ難いがJRの決定があり止むをえないと判断

問

10月4日JRは無
人駅5路線18カ所
のうち、4路線10カ所
について来年3月に廃
止する方針を固めたと
報道され、このうち大
半の自治体が廃止を容
認する構えであるとし
ている。その中に五十
石駅があるが、JRと
どのような話し合いを
したのか。また、住民
への説明会などの経緯
について報告を求める。

さらには、本町として
五十石駅の廃止を受け
入れたのかどうか伺う。
本町沿線の駅はまち
づくりの面からも、本
町の歴史や文化の面か
ら重要な役割を果た
し、また、これからも
大きな役割を持つもの
であると確信している。したがって、
駅周辺地域の住民だけではなく全町
民との話し合い、公聴会等が必要で
あると考えるがどうか。

い。五十石駅については、利用者が
一人でもいれば存続のための努力を
していくべきと考えるがどうか。

答 JR北海
道から、



五十石駅での乗車

昨年6月、本
年4月、7月、
8月と、五十
石駅の廃止に
向けて検討を
しているとの
旨が伝えられたが、到底賛同できる
ものではないとの本町の意向を伝え
ている。

地域の意見を聞くべきとの議会の
意向を踏まえ10月4日、11月15日に
JRも含め周辺住民に直接説明する
機会を設定した。

今後直接利用される地域住民、町
民の代表である議会との意見交換に
よって対応していきたい。存続のた
めに直営で施設の維持や管理をする
のは困難と考えている。

深見 迪 議員

釧網線廃止問題につ
いてどのような取り組
みをしているか

問

JR北海道は、安全投資や修繕、
検査、保守などの計画を示す一
方で、11月18日「JR単独での維持
が困難な路線」なるものを発表した。
その中に釧網線があるが、釧網線を
めぐって、その後JRからどのよう
な話があったのか。また、沿線自治
体とどのような話し合いを持ち、今
後の対応について協議したのか伺う。
このような情勢の中、釧網線維持
のため私たちが何をすべきなのかに
ついて町長の所見を伺う。

答

11月17日、JR本社の部長が来
標し記者会見で発表する内容
「JR単独での維持が困難な路線」
についての説明があったが、その後
について話はない。

また、沿線自治体との話し合いは、
現在JRからの具体的な提案はな
く、協議の場の設定はされていない。
本件について一義的にはどのよう
にしたら存続できるのかであり、本
町としても積極的に議論に加わり、
ともに対策を
講じていきたく

い。また今後
の推移を注視
しつつ対応し
ていきたい。



深見 迪 議員

国保の広域化に伴う住
民負担増は回避すべき

問

北海道が保険者になった場合、
標茶町は20%以上国保税が上が
ることになるといふ試算が発表され
た。その内容は、夫婦二人家族で所
得200万円のモデル世帯で金額に
したら年間5万9,800円の値上
げとなる。これについての所見を伺
う。

激変緩和の措置は、国保税が上
がった場合どのような形で措置され
るのか。

保険者が北海道になったとしても
住民の負担軽減のために、従来の
ルール外繰入に相当する町からの形
を変えた支援なり補助なりをすべき
と考えるがどうか。

答

今回の仮算定は、新たな制度へ
の移行準備の一環として、納付
金の算定方法や激変緩和措置の対象
範囲等を市町村と協議する際の参考
として公表されたものだ。これはあ
くまで必要な費用は保険料や国庫負
担金などにより賄うとの原則にてら
して合わせた場合の数値と受け止め

渡邊 定之
議員

「ことばの教室」の再会を

教育長 免許所有に向けた支援を進める

問 私は「言語に障がいのある子どもに効果的な言語教育ができる」「ことばの教室」の再開を「」について質問する。

以前は、中心校に「ことばの教室」があり、又その後子ども発達支援センターふれいぱるでの言語活動の通所指導が行われていた。

言語に心配のある子どもが増加しているのに、なぜそれが行われなくなつたのか。また、ことばの指導を必要としている児童の人数は本町でどのくらいいるか。

特別支援学級在籍で言語に障がいのある児童や、通常学級に在籍

している。

激変緩和については本町については、制度の対象とはならない。

町独自の激変緩和措置も含め、段階的な解消について検討していきたい。



ふれいぱる

し、言語の通級指導の必要があると認められる児童に対して、適切な言語指導を行える教職員は、本町に何人くらい配置されているか。また、もし配置されていないのであれば、釧路教育局へ言語指導専門の教職員の加配を要請すべきと考えるがどうか。

障がい児への指導・教育は、早期発見、早期指導が原則である。加配が早期に実現しない場合でも就学前の子どもたちも含め、適切な言語指導が受けられるよう町独自で専門的な言語教育、指導ができるよう環境をつくるべきと考えるがどうか。

答 以前は、言語治療教室を開設したが、その後、他の発達にも遅れや心配を抱えるケースが多いことから、現在の「子ども発達支援センター」の体制となつた。

現在、言語も含めて療育指導を受けている通所児童数は、毎年20名を超えている状況となっている。

現在、本町の言語学級では、小学校1校で2名の児童が在籍し、教職員は1名配置されている。特別支援学級を担当する教職員に対しては、特別支援学校の免許所有に向けた支援を進めるとともに専門性を高める研修等の充実に努めていく。

現在、本町の言語学級では、小学校1校で2名の児童が在籍し、教職員は1名配置されている。特別支援学級を担当する教職員に対しては、特別支援学校の免許所有に向けた支援を進めるとともに専門性を高める研修等の充実に努めていく。

渡邊 定之 議員

「地域振興事業に対する支援」の活用で更なる地域振興を

問 中虹別地域ではブルーベリーの栽培で本事業を活用した。その結果、まだまだ実績としては確かなものではないが、この事業を利用して行ったことが、地域おこし、まちづくりの面でも非常に役立つと考える。

助成は4分の3となっているが、

これが地域会の負担になり、次への事業の発展を妨げる結果になっているように思う。負担がさらに軽減されて制度の充実をし、推進すべきと考えるがどうか。



ブルーベリー

答 議員指摘のブルーベリーの栽培は、憩いの場を整備する事業項目で一定の活用をしてもらつた。町振興条例での地域振興事業に対する補助は、それぞれの自治会において地域課題の解決や地域振興の方策として制度活用をしている。補助を4分の3としたのは、地域の自主性と行政支援のあり方として妥当な線だ。

次への事業については、補助の目的が重要だと思つたので、申請内容を聞いたうえで判断すべきものと思つた。

学校給食の食物アレルギー対応と共同調理場の建替を

鈴木 裕美 議員

教育長 整備方針の検討を進める

食物アレルギー等のある児童生徒に対しては個々の状況に応じた対応に努めることとなっている。本町の共同調理場は築後35年で食物アレルギー対応を想定した施設となっていないため代替食を家庭から持たせる等の対応と聞いている。児童生徒の食物アレルギーの状況はどのようになっているか。家庭からの代替食は一ヶ月で何回くらいなのか。代替食はどのようなになっているか。

標茶は釧路管内の調理場の中でも古いほうだ。二次感染防止からも区域毎、部屋単位で作業区分することになったこともふまえ、安全で安心な給食を提供するために一日も早い建て替えをするべきと考えるがどうか。



学校給食調理場では毎年、年度当初に各小中学校を通じて保護者に対し児童生徒の食物アレルギーの調査を実施している。今年度の状況は小学校6校で21名、中学校3校で9名、計30名が何らかの食物アレルギーがあると回答している。家庭からの代替食持参は2名おり、月の約半数程度である。給食費は献立メニューによって提供しない月は徴収していない。

給食調理場は35年経過しており、建て替えが必要な時期と認識している。財政見直しを考慮し、関係各課で整備方針の検討を進めていきたい。

消費生活相談員の配置を

鈴木 裕美 議員

問

国の地方消費者行政推進交付金を活用し、北海道を通じて本町も消費者行政推進事業を実施している。

答

北海道は平成20年、国の推進交付金を活用して消費者行政活性化基金を設置し、市町村が行う消費生活相談窓口の整備等に財政支援を行っているが、この基金の活用はどのようなになっているか。この交付金等を活用して、本町独自で相談員を配置してはどうか。また、相談員の資格取得の経費を町で負担する考えはないか。

問

消費者行政活性化基金の活用については21年度と24年度に申請し、24年度申請については32年まで活用するよう手続きしている。

答

消費者生活相談体制は企画財政課商工労働係が窓口となっている。管内消費者生活相談体制として釧路市が事務委託を受けている。本町独自の消費者生活相談員体制については、担当課における現状の体制で十分対応できると考える。

「憩の家かや沼」の現状の運営と今後について

櫻井 一隆 議員

町長 早期に改善計画を作成する

問

町は、釧路湿原国立公園の中にある唯一の温泉ホテルである「憩の家かや沼」の運営を行っている観光開発公社には大株主として1,594株、1,594万円を出資している。この公社役員として代表取締役には町長を筆頭に経営に参画し日夜尽力されていると聞いている。

先月には、新たな調理人も採用され業務に励んでいるが、一般株主や町民は今後の経営存続を大変心配している。次の2点について伺う。

① 憩の家かや沼の経営、運営が縮小される

現状はどうなっているのか。

② 憩の家かや沼を今後どう運営してらっしゃっているのか。



憩の家 かや沼

答 1点目については、調理スタッフの不足と労働時間等の職場環境の改善のため、宴会、宿泊は制限している。レストランについては、週2回休みとし午前と午後に分けて営業をしている。風呂については従前同様に行っている。

2点目については、町民の財産である憩の家かや沼は守るべき資源で残したいと強く思っている。早期に改善計画を作成する中、役場組織形態の見直しと、公設民営化も一つの選択肢と考えている。

予算審査特別委員会 総括質疑

後藤 勲 議員

問 標識のため通れないという通報で、本町役場に問い合わせたところ、町道の管轄ではないとの答えだった。親切な対応をすべきではないか。

答 電話での対応が悪いとの話については、丁寧に情報を説明しよう。

問 町長の旅費が年々増額されているが、少しは減額に向けて努力すべきではないか。

答 町長と副町長の分がほとんどで、必要な経費である。

深見 迪 議員

問 介護度が上がった後も必要な介護サービスは下げるべきでない。

答 制度としては過重サービスをするることになる。介護保険制度のルールでいくと厳しい。

問 新総合事業の中で、通所介護と通所リハビリを受けられるようにすべきではないか。

答 介護と医療は違うが、医療と介護の連携と負担の割合について厚労省は検討中である。本町もさらに研究していきたい。

渡邊 定之 議員

問 スクールバス運行上、支障をきたす道路状況がある。除雪パトロールはどのように行っているか。

答 除雪については関係者で会議を行っている。プラウなどの機械に関することも委託料に含まれている。業者とも連絡を密に行い今後対応していきたい。



平川 昌昭 議員

問 町有財産（土地）売却について新聞折り込みで公表されたが、物件により計画はあるのか。また、麻生団地等のインターネット公売において、今後写真を共に掲載するなどして、情報提供すべきでは。

答 今後も一般公募は行い、政策的な売却も考えており、手法については研究していきたい。

問 標茶町福祉基金条例は高齢者の顕彰する場合にも使用しているが、今後各種団体などが行う福祉事業の財源として活用するための補助を検討すべきと思うがどうか。

答 運用活用は、様々な状況を考えて検討していきたい。

問 自宅周りの道路などが凍結したときの散布用砂は、6m程の在庫だが、グループ的に住民が活用する場合の対応はどうか。

答 具体的な相談があれば対応していきたい。

平成27年度 決算を認定

平成27年度決算審査特別委員会が平成28年10月20、21日に行われ、一般会計、特別会計、企業会計について審議し、審査の結果認定すべきものとなり、12月6日開催の第4回定例会で認定されました。

(円)

会計名	区分	決算額		差引残高
		歳入	歳出	
一般会計		123億 932万 3,400	121億 6,412万 5,211	1億 4,519万 8,189
特別会計	国保事業	13億 2,513万 6,958	13億 1,908万 9,252	604万 7,706
	下水道事業	6億 7,046万 1,732	6億 7,046万 1,732	0
	介護保険(事業)	9億 332万 3,259	8億 6,972万 8,537	3,359万 4,722
	介護保険(サービス)	5億 322万 717	5億 321万 5,310	5,407
	後期高齢者医療	9,867万 1,746	9,812万 168	55万 1,578
	特別会計小計	35億 81万 4,412	34億 6,061万 4,999	4,019万 9,413
総計(一般+特別)		158億 1,013万 7,812	156億 2,474万 210	1億 8,539万 7,602

企業会計・病院

(円)

総収益	総費用	当年度純利益
10億 8,358万 2,705	10億 8,318万 1,139	40万 1,566

企業会計・上水道

(円)

収入合計	支出合計	当年度純利益
9,311万 2,598	8,723万 1,674	588万 924

総括質疑

平成二十七年
度
各会計決算審査特別委員会

熊谷 善行 議員

問 平成28年第1回定例会で「ふるさと納税への取り組みについて」の質問では、「郷土館の建物の維持補修等まちづくりに必要な事業を提示し募集する」と答弁があったが、ふるさと納税の募集は行っているのか。

答 内部で協議をし制度設計等の議論をしているが、それができ次第PR等をしていきたい。

櫻井 一隆 議員

問 「憩の家かや沼」の27年度決算をどのように受け止めたのか。また、厳しい経営状況に対し今後どのような対策を考えているか。

答 休館の影響が予想以上に大きくかなり厳しい状況下にあった。

今後、調理師等人材確保の見通しが
出たので進めていきたい。

渡邊 定之 議員

問 健康づくり運動指導員養成講座が計画されているが、教育大学との連携で行われたように、充実した内容にすべきと考えるがどうか。

答 平成29年度の講習を考えている。外部の講師も考えながら過去の講座内容の検討や指導員の意見も参考に考えていきたい。

問 多和育成牧場の飼料安定確保をどのようにしているか。また、食品残渣飼料試験給与の結果と今後の対応について聞く。

※食品残渣とは

国内で生産されたウイスキー製造過程で生まれたコーンの搾りかすやコーヒーパーなど乳酸醗酵させたもので腸内フローラのエサとなるものとして入れている。

本多 耕平 議員

答 二番草を中心に牧場に融通して
もらっている。例年通り粗飼料
をほぼ確保ができています。食品残渣
の試験給与は粗飼料不足を補うこと
が目的ではない。世界規模の作況不
況に影響されないことが目的だ。

問 農業分担金収入未済額について
納入させる努力をどのようにし
たか。

答 電話での督促や催促状などを出
したり、また分納などの形で納
めてもらっている。

問 町民一人ひとりが義務を果たす
まちづくりのためにも、住宅使
用収入未済額、税の滞納、税外収入
未済処理対策、施策をどのように考
えているか。

答 税については町税収納会議、税
外は収納対策委員会等すべきこ
とをし、収納率をあげる努力をして
いる。

問 美幌堆肥舎の償却年数は何年
か。いくら年数を伸ばし、最終
年数は何年にしたのか。美幌堆肥舎
の今後の維持管理をどのように考え
ているか。

答 使用料算定で、償却年数を伸ば
したいということではない。最
終年数は平成40年度である。今年の
6月で使用をやめた。今後につい
ては内部協議をしている。

問 交通事故を防ぐために、町道阿
歴内3線の案内看板設置など環
境整備をすべきと考えるがどうか。



答 国道側については、開発建設部
へ要請する。町道の車線上の止
まれの看板を設置している。周辺の
整備もしてきたが地域の要望も聞き
検討していく。

問 本町の釧路湿原、塘路湖、多
和平等など数少ない資源を大事に
維持管理することを望む。特にサル
ボ展望台、多和平の環境整備を早急
にすべきではないか。



答 サルボ展望台については、環
境省、道とも協議していく。多
和平については、町有施設整備基金
があるが、今後緊急に対応してい
きたい。

問 町育成牧場の哺育事業、綿羊生
産事業の方向性を具体化するべ
きではないか。
また、歴史的トラクター展示のあ
り方を検討すべきではないか。

答 哺育事業については、関係団体
や利用者と話しながら検討して
いきたい。

トラクターの展示は夏期間中は屋
外で展示し、冬期は倉庫に収納して
いる。案内板については考えている。
綿羊については福祉分野の事業、
観光分野として考えてきたが増頭も
考えている。



松下 哲也 議員

問 地域活性化事業、地域振興事業で取り組まれた移住促進対策について、どのような取り組みがなされたか。移住者と移住希望者との交流活動に取り組んではどうか。

答 大阪、名古屋圏において、標茶町PRブースを開設し移住誘致に向け、入り口段階の取り組みをした。

移住希望者との交流については、今後検討したい。

深見 迪 議員

問 「広報しべちゃ」が全町民に配布されていない実態がある。全町民に配布すべきではないか。

答 全町民に配るべきものと思っ
ている。何とか全戸配布めざして
どっしり手法があるのか考えていき
たい。

問 ごみの分別収集だが高齢者が増
えて、様々な要因で分別の仕方

が難しくなってきたという実態がある。課題としてとらえ、対応を考えたことはどうか。

答 実態は把握していないが、これ
からさういふ課題等も多くなっ
てくると思う。ぜひこれから介護事
業所などと協議しながら検討してい
きたい。



問 教職員の多忙化について、会議
を減らすだけでは解消できな
い。長時間労働について、文科省は
部活動を含めた待ったなしの思い
切った改革を示唆しているがどうと
らえているか。

答 会議を減らすといふのは取り組
みの一部である。

定数の改善の問題や、少人数（学
級）の実現等々引き続きやっていき
たい。

改革は今の段階ではおさえてい
ないがこれからの課題と認識してい
る。

意見書

次の5件の意見書が可決され、関係機関に送付されました。

◆意見書第19号

大雨災害に関する意見書

本年の大雨等による甚大な災害に
対しての復旧復興に要する国の財政
支援等を求めたものです。

◆意見書第20号

JR北海道への経営支援を求める意
見書

地域住民の日常生活に重要な移動
手段である鉄道が公共交通機関とし
ての役割を果たせるよう、国の財政
支援を求めたものです。

◆意見書第23号

介護サービスの適切な確保と介護従
事者の処遇改善を求める意見書

必要な介護サービスを適切に受け
ることができる制度の維持、介護人
材の安定的な確保のため、国に処遇
改善を求めたものです。

◆意見書第24号

緊急防災・減災事業債制度の恒久化
等を求める意見

近年大規模な自然災害が多発して
いることから、地方自治体が計画的
に庁舎等の耐震化等に取り組めるよ
う地方財政措置を国に求めるもので
す。

◆意見書第25号

地方議会議員の厚生年金制度への加
入を求める意見書

国民の幅広い政治参加や、地方議
会における人材確保の観点から、地
方議会議員の厚生年金制度加入の法
整備を国に要望したものです。

次の2件の意見書が提出されましたが、賛成少数で否決されました。

◆意見書第21号

地方財政の充実・強化を求める意見書

2017年度の政府予算、地方財政の検討に当たって、国民生活を犠牲にする財政ではなく社会保険予算の充実、地方財政の確立を政府に求めたものです。

◆意見書第22号

義務教育費国庫負担制度堅持等、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充に向けた意見書

義務教育費無償、義務教育費国庫負担制度の堅持、負担率2分の1への還元など、教育予算の確保・拡充、修学保障の充実を求めたものです。

委員会報告

厚生文教委員会 所管事務調査報告

○調査日時

平成28年11月28日

○調査場所

標茶町役場議員室
標茶町立中茶安別小中学校会議室

○調査事項

統廃合により転校した子どもたちの現状について

○調査の経過及び内容

資料に基づき、阿歴内小中学校との統合に向けた中茶安別小中学校の取り組み及び統合後のようすについて学校からの説明を受け、各学年の授業参観をした。その後議員室において、管理課長から平成28年度から34年度までの「年度別児童生徒数の

推移」「年度別新入学児童生徒数見込」について説明を受けた。



中茶安別小中学校の授業風景

○委員会の所見

授業参観ではどの学年も楽しく授業に参加し、統合がスムーズに行われたとみられる。丁寧な板書やタブレット端末を活用するなど工夫された授業も素晴らしかった。統合に際しての保護者、地域の取り組みがそれぞれの地域の努力で取

り組まれていた。

スクールバスの登下校時間が長く、児童生徒の負担も感じられる。

児童数は、推計では6年後の平成34年には80人も減少する。特に標茶小学校の人数は300人から219人に激減する。少子化、人口減によるものだが、標茶町第4期総合計画に掲げた、「・・・産業の発展と雇用の確保、子育て支援などの全町民によるまちづくりを推進し、社会減の抑制と自然増の向上にまちをあげて取り組む・・・」ことの具体化が望まれる。

総務経済委員会 所管事務調査報告

総務経済委員会に付託されていた「標茶町簡易水道事業の設置等に関する条例の制定について」は、平成28年11月11日の委員会において「原案可決すべきもの」と報告がありました。

◆◆◆◆◆ 平成28年第4回定例会賛否一覧 ◆◆◆◆◆

※これ以外の議案等は全員一致です。

議員名	櫻井一隆	後藤勲	熊谷善行	深見迪	黒沼俊幸	松下哲也	川村多美男	渡邊定之	鈴木裕美	平川昌昭	本多耕平	菊地誠道	館田賢治	結果
議案第67号 平成28年度標茶町一般会計補正予算	×	×	退	○	×	○	×	○	○	○	×	×		原案否決
意見書案第21号 地方財政の充実・強化を求める意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決
意見書案第22号 義務教育費国庫負担制度堅持等、子どもの貧困解消など教育予算確保・拡充に向けた意見書	×	×	×	○	×	○	×	○	○	×	×	×		原案否決

○ 賛成 × 反対 退 退席 欠 欠席 (議長は、採決に加わりません。)

川村議員(反対) 憩の家の不祥事は、本年九月に議長宛てに内部告発の文書が届き、その時点で知り、今日まで数度、町議会全員協議会で詳細を知りました。

7年前から施設責任者が他人名義で浴室や夜警、運転手などを着服、金額は1千万円を超えるとの町の説明がありました。

つい先日は300万円が不足で町から繰り入れがなければ資金ショートする、この度は3千万円を一般財源から繰り入れしたいとのことだが、一般企業では金融機関から不足分を借り入れ対処するのが常識と考えます。

この7年間の空白は私ども議会議員の一人として受

議案67号否決

議案67号
『憩の家かや沼に対する3千万円の補正予算』
は、起立少数で原案否決されました。
(賛成5名、反対6名、退場1名)

議案67号に対する反対、賛成の討論は次のとおりです。

川村議員(反対)

憩の家の不祥事は、本年九月に議長宛てに内部告発の文書が届き、その時点で知り、今日まで数度、町議会全員協議会で詳細を知りました。

7年前から施設責任者が他人名義で浴室や夜警、運転手などを着服、金額は1千万円を超えるとの町の説明がありました。

つい先日は300万円が不足で町から繰り入れがなければ資金ショートする、この度は3千万円を一般財源から繰り入れしたいとのことだが、一般企業では金融機関から不足分を借り入れ対処するのが常識と考えます。

鈴木議員(賛成)

議案第67号に対し賛成の立場で討論いたします。

くしろ湿原パーク「憩の家かや沼」は町民の健全な保養とレクリエーションの場を提供するとともに地域

観光の振興に資するため、昭和53年10月町内唯一の温泉宿泊施設として設置されました。当時、大自然、湿原の中で町民の憩いの場として画期的なものでした。設置してから38年、この間社会環境の大きな変化で、町内にも温泉施設が多く増え、町民の「憩の家かや沼」の利用も減少傾向になってきたところでございます。

小高い丘の上に位置して、釧路湿原国立公園唯一の天然温泉として、さらに野生動物との共生、悠久の自然を感じる施設としてリピーターの人気も高く、旅行会社にも本町の宿泊施設を訪ねると「憩の家かや沼」と紹介されると言われております。

しかし、経営は厳しく何度もその危機を乗り越えてきています。そのことは、その時々々の議会の理解があったからと認識しております。

先日、全員協議会で職員不足などで収益が上がらずこのままでいくと休業せざるを得ない状況との説明がありました。また、今定例会の一般質問で取り上げら

れたこともあり、町民の「憩の家かや沼」に対する関心は高く、私のところにも「憩の家はどうなるの」、「休業はしないで営業は続けてほしい」と多くの町民の声が寄せられています。

深見議員（賛成）

私は、議案第67号「一般会計補正予算（第8号）」に賛成の討論を行います。「くしろ湿原パーク憩の家かや沼」は、いま様々な要因が重なって経営の危機に直面しています。このことについて議会は、多くの時間を割いて議論をしてきました。町長をはじめ、この運営に関わってきた町関係者への厳しい批判もありま

した。経営が行き詰まったことの原因の調査、打開策など多くの議員諸氏が独自の調査も行い、何とか「憩の家かや沼」を守るよう努力してきました。この間様々な意見交換も行いましたが、議長をはじめとして議会が常に一致確認してきたことは「憩の家かや沼」が町民の貴重な財産であること、なんとしても経営を守っていくこと、同時にそこで働く人たちの雇用も守ること、「憩の家かや沼」を愛してきてくださる町内のお客様、そして町外のお客様の期待を裏切らず、本町観光の目玉の一つとして大事にしていくことなどでした。

「憩の家かや沼」は、平成26年度12月の第四回定例会において、釧路観光開発公社（代表取締役・池田裕二）を指定管理者として指定することが提案され、議会はこれに同意しました。この経営形態の評価については同意した議会も責任の一端を握っていると思えますし、その意味では私も責任を感じているところで

今、経営の危機に直面し、予約も一部断らざるを得ない状況から一日も早く抜け出し、一日も休むことなく営業を続けることは、多くの町民、町内外からのお客様や従業員の願いでもあると思います。そのため本日提案された補正予算が、それが必ずしも最上の策であるとは限らないと思えますが、緊急避難的に計上されたこの12月、1月を乗り切り、経営の正常化に一步でも近づくことであることを確信し賛成いたします。

櫻井議員（反対）

私は、このいま提案された議案に対して反対するものであります。

泣きたいのは町民もここに立っている私も同じなんです。この憩の家かや沼をどう守ってどう立ち直らせていくかと、こういうことが真剣にこの場で議論されればもっともっと深いところまでいろんなものが出たところと思うんですが、経営母体が違う、議会はここま

でだといつそついつつような制約の中で、真実を町民に明らかにできることもせずこの法案を通すわけには、私は断固反対するものであります。

松下議員（賛成）

私は議案第67号に対して、賛成の立場で討論を行います。

標茶の貴重な財産である釧路湿原唯一の温泉施設の、また、標茶の観光の情報発信元でありますかや沼憩の家の灯を決して消してはならない、そう考えます。今までの経過につきましては多くの議員の討論の中で述べられておりますので重複いたしますので発言は致

しませんけれども、長年多くの町民に愛され憩いの場となってきました。敬老会シーズンには、町内の多くの町内会、また、福祉協会会地区部会の敬老会の会場と利用され、送迎付きで多くの敬老対象者が集まってきて楽しいひと時を過ごしてきております。また、各種学校等の同窓会もその会場となってきました。そういう人たちの会場とそういう場を決して私は奪ってはならない、そういうふうに思っております。

また、温泉を愛する町内外の多くのリピーターもおります。そういう人たちの期待も決して裏切ってはならない。隣接するキャンプ場と合わせて道内外から多くの観光客も訪れる場所として、その核となる施設でもあります。一度休業状態に陥ってしまうとその信用を回復するというのは非常に困難な状態になるということが予想されます。

一日も早い正常な営業活動を再開する、そういうことを強く求めて、私はこの議案に賛成の意思を表明して討論を終わります。

第四回定例会 議会6日誌から

- 九月三十日 広報調査特別委員会
- 十月十一日 広報調査特別委員会
- 十月十九日 議会運営委員会
- 十月二十日 第2回臨時会
- 十月二十日 平成27年度標茶町各会計決算
審査特別委員会
- 十一月十一日 総務経済委員会所管事務調査
- 十一月二十一日 釧路町村議会議員研修会
～二十二日
- 十一月二十八日 厚生文教委員会所管事務調査
- 十一月三十日 釧路北部消防事務組合議会第3回臨時会
- 十二月一日 川上郡衛生処理組合議会第1回臨時会
全員協議会
- 十二月二日 議会運営委員会
- 十二月六日 第4定例会
～八日
- 十二月六日 全員協議会
- 十二月八日 議会運営委員会
- 十二月七日 議会運営委員会
- 十二月十九日 釧路町村議長会12月定例会
- 十二月二十二日 広報調査特別委員会
- 十二月二十六日 釧路公立大学事務組合議会12月定例会
議会運営委員会
- 十二月二十六日 議会運営委員会
- 十二月二十八日 第3回臨時会



2017.1.4 標茶町商工会・どんぐりスタンプ会 お楽しみ抽選会

編集後記

「議会だより」105号をお届けし、12月6～8日の第4回定例町議会の報告をいたします。

12月は、1日と6日に全員協議会が開催されました。全員協議会は、

- (1) 議案のうち、特に事前に説明が必要とされるもの、
- (2) 町の重要な計画の策定及び事業の実施に関するもの、
- (3) 議会の議決に含まれない町政運営上、重要事項に関するもの、
- (4) 議員又は委員会の提出議案、政策提言等で議員間の協議又は調整が必要とされるもの

などの内容で行われます。

12月の全員協議会は、国保の都道府県化、郷土館機能の移転、食肉加工センター、憩の家かや沼：：等8件もの重要な課題で開かれました。

12月定例会は、今年度の締めくくりの本会議でしたが、多くのおみなさんが熱心に傍聴してくださいました。ありがとうございます。ご意見をいただきました。「議会だより」の文書で見ると、傍聴するのとは全然違う。来て良かった」との感想もいただきました。

今、町は多くの課題を抱え、議会も当然ながら真剣に取り組んでいます。年末ぎりぎりの12月28日にも臨時議会が開催されます。

年末、大荒れの天気に住民のおみなさんは大変だったと思います。

新しい年がみなさんにとって良い年であることを願って編集後記とします。

(文責 深見 迪)